

会津の語り最後の伝承者 山田登志美が語る

ドキュメンタリー映画

生きてこそ



語りとは何なのか
この福島で今何が起きているのか
本当のことが知りたい それには
.
.
.



監督 安孫子亘



出演:山田登志美 山田花愛 堀川民話の会 やまだズの皆さん
監督/撮影:安孫子亘 音楽/主題曲「生きてこそ」作曲:横内 弘 編曲:泉谷隆洋 エンディング曲「田植えうた」作詞/作曲/唄:佐藤孝雄
ナレーション:木内里美 録音:MAスタジオ:アフタービート沼尻一男 本橋大輔 編集スタジオ:会津ジイゴ坂学舎 字幕翻訳:シング麻美
制作デスク:渡部政昭 プロデューサー:ナオミ 企画/製作/配給:株式会社ミルインターナショナル

この語りには不思議な力が宿っている



生きてこそ

福島県、磐梯山を望む会津盆地。
一軒の米農家に86歳のおばあちゃんが暮らしている。
山田登志美(やまだとしみ)。

登志美さんは、昔ながらの会津弁で昔話を語る。
その昔話には、不思議な力が宿っている。

2011年3月11日東日本大震災。

福島第一原発事故の収束のめどは、立っていない。
収穫された米も全袋放射能検査を義務付けられた。

登志美さんは被災地を訪れた。

本当のことが知りたい。

この先、福島がどうなっていくのか。

子供たちの健康は？

避難している人たちが本当にふるさとに帰れるのか。

登志美さんの温かい笑顔と語りは、終わりの見えない人たちの心を癒してくれた。

「この原発事故も、早く昔話になるといいよな〜。」



映画製作の拠点を福島県の会津に

監督の安孫子亘は「もっと福島を肌で感じたい」との思いから会津に映画製作の拠点を設けた。同じ空気を吸い、同じ水を飲むことで深い信頼関係が芽生える。山田登志美さんに出会い多くの事を学びました。会津の語りとは何か。それは何に生かされるのか。登志美さんの語りをいつも聞いて思うことは、すべて人間教育なんだ。ただの昔話ではないということ。放射能問題と向き合う米作り。収束のめどが見えてこない原発避難者への対応。そして福島の子供たちの将来。山田登志美さんの語りを通して福島姿を見て下さい。

後援：福島県喜多方市 福島県喜多方市教育委員会 会津いいで農業協同組合 福島県会津北部土地改良区 福島県南会津郡下郷町 極上の会津プロジェクト協議会 会津喜多方商工会議所 きたかた商工会 誠和会 NPO喜多方市民活動サポートネットワーク NPO法人まちづくり喜多方 喜多方シティアエム 社会福祉法人

監督/撮影/編集:安孫子亘 音楽/主題曲「生きてこそ」作曲:横内 弘
エンディング曲「田植えうた」作詞/作曲/唄:佐藤孝雄 ナレーション:木内里美
録音・MAスタジオ:アフタービート沼尻一男 本橋大輔 制作デスク:渡部政昭
プロデューサー:ナオミ 企画/製作/配給:株式会社ミルインターナショナル
2013年/日本語/HD/カラー/74分

生きてこそ製作委員会 会津ジゴ坂スタジオ(担当:ナオミ)

TEL 090-3098-7077

e-mail: miru36@ag.wakwak.com

公式サイト: <http://www.ikitekoso.com/>



特別上映会 平成 27 年 4 月 11 日 (土) 【無料】

■上映時間: 第1回 (一般の方)

開場 12:00 ~ 開演 12:30 ~

第2回 (関係者のみ)

開場 15:00 ~ 開演 15:30 ~

■上映会場: 村の駅どうじま 岸浪仙次蔵部くらぶ

■所在地: 喜多方市塩川町四奈川字能力 39

(席数限定につきご予約ください)

080-2840-5640 (飯塚)